

創立30周年記念講演会を終えて

平素より皆様には、くすの木病院へのご紹介、画像診断のご活用など大変お世話になり有難うございます。

当院はおかげをもちまして創立30周年を迎え、1月28日には記念講演会を催し、ご多忙中にもかかわらず、多くの皆様にご参加頂き盛況のうちに終える事ができました。多死時代を迎え、新たな治療手段として癌に対する重粒子線治療と、かたや根治し得ない癌や認知症等に対する緩和治療を群馬大学医学部附属病院の大野達也教授、渋川医療センターの斎藤龍生院長からご講演いただき、多くの反響を得ました。また、ヴァイオリン・ピアノの演奏も聞き応えがあり大変好評でした。参加していただいた皆様、各関係諸氏に厚く御礼申し上げます。



さて、年明けからインフルエンザの患者様が増え、1月半ばで外来・入院含め既に50名を超えております。例年になくインフルエンザB型がA型を上回る勢いで、ワクチンの有効性に疑問符がつきます。当院でも面会者の持ち込みと考えられるインフルエンザが入院患者様に感染し、発症者が複数名になった時点で面会を全面禁止と致しました。一昨年9月上旬、インフルエンザのアウトブレイクを経験し、その経験から入院患者様を守り、ウイルスを持ち込ませないという観点からアウトブレイク前に面会禁止の処置を行っております。インフルエンザに感染した患者様と同室者の患者様への予防投与や検査回数が増え、患者様や病院にいずれも多大な被害をもたらします。スタッフは急遽面会できなくなった理由を患者様や患者家族に伝えなければならず、一時的とはいえ負担も増えました。感染症との闘いは人類の進化の歴史でもあるわけですが、微生物の進化、変異もAIで人間より正確に予知できるようになると良いと思ひ文献検索したところ、既にいくつかのグループが10年以上前より研究を進めているようです。しかし、実績はまだまだというところでしょう。

この時期は外来、入院と混み合う時期になりますが、皆様からのご紹介、画像依頼などの対応もより充実させてまいりますので、引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

病院長 高木 均

● 創立30周年記念講演会を終えて	1
● 医療安全管理室のご紹介	2
● 医療トピックス 『レクタブル®2mg注腸フォーム14回について』	3
● 外来担当医師週間予定表	4

連携だより「Face to Face」のホームページ掲載をはじめました！
トップページ「おしらせ」>「広報誌」からご覧ください。



医療安全管理室のご紹介

医療安全管理室は平成23年11月に開設され、6年が経過しました。「安全で安心な医療の提供」「組織・チーム医療連携の推進」「リスク感性の向上」を目標に掲げ取り組んでいます。

医療安全研修

全職員を対象とし年2回の研修では、e-ラーニングで受講できる「Safety Plus」を活用しています。動画講義で内容がわかりやすく従来の研修では得られなかった効果がみられています。また、e-ラーニングは、自分の都合に合わせて学習できるため、今後の活用を広げていきたいと思っています。



KYT(危険予知トレーニング)

H22年度から継続してKYT(危険予知トレーニング)活動を行っています。当初は、イラストを使っのKYT活動でしたが、H25年度からは「部署内の環境問題(整理整頓の5S活動)のKYT活動」へと継続し、ここ2年間は『確認防止のKYT活動を行いPDCAサイクルで回す』とし取り組んでいます。

医療安全推進月間

2001年に「患者の安全を守るための共同行動」の一環として厚労省が位置づけた「医療安全推進週間」は、毎年11月25日を含む1週間と定められ、当院ではH29年度11月を「医療安全推進月間」とし院内行事をスタートさせました。

活動内容は、各部署が継続して実施しているKYT活動を他部署にアピールし役立ててもらおう事と、川柳本来の良さが日頃の業務の中で意識づけとなるよう患者誤認防止について楽しみながら考える「医療安全川柳」を募集しました。思わず「クスッ」と笑ってしまったたり、心が「ホッ」と和んだり、はたまた「ドキッ」としてしまいうような作品もありました。



安心安全な文化の醸成は、毎日の積み重ねにあると考えます。誰かがやればよい医療安全ではなく、職員1人1人が「患者さんの安全確保」の為に「自分たちの取り組みが安全にいかされている」と思える様な活動を、これからも「今できる事を前向きに」構築していけるよう努力していきたいと思います。

医療安全管理室 高橋 真美子

- 1) PDCAサイクル・・・ Plan(計画) Do(実行) Check(評価) Act(改善)
管理業務を円滑に進める手法の一つ。4段階を繰り返し継続的に業務を改善する。
- 2) KYT …………… 事故を未然に防ぐことを目的に、業務に潜む危険を予想し気付き合うトレーニング。
危険(K) 予知(Y) トレーニング(T)の頭文字をとってKYTと呼ぶ。
- 3) 5S …………… 職場環境維持改善で用いられるスローガン。
整理、整頓、清掃、清潔、躰 5項目のローマ字の頭文字Sをとり5Sとしている。

薬剤科

レクタブル®2mg注腸フォーム14回について

平成28年12月に新発売された潰瘍性大腸炎治療剤のレクタブル®2mg注腸フォーム14回についてご紹介させていただきます。

レクタブル®2mg注腸フォーム14回は、ブデゾニドを有効成分とする潰瘍性大腸炎治療剤です。日本初の注腸フォーム剤で、泡が直腸～S状結腸まで広がり、患部にとどまることで漏れにくく、立ったまま投与できます。フォーム剤により腸管内で薬液が保持されるので、以前の注腸剤の課題であった薬液漏出が軽減されました。立位での注入が可能になったことにより簡便性が向上し、潰瘍性大腸炎の寛解導入治療における新たな選択肢として期待されています。

効果・効能

潰瘍性大腸炎(重症を除く)

用法用量

通常、成人には1回あたり1プッシュ(ブデゾニドとして2mg)、1日2回直腸内に噴射する。

使用上の注意

- 直腸、S状結腸部の病変に対して使用すること
- 投与中は患者の病変を十分観察し、投与開始6週間を目安に本剤の必要性を検討し、漠然と投与を継続しないこと

併用注意

- CYP3A4阻害薬(イトラコナゾール、エリスロマイシン、シクロスポリン、コビススタット等)
- グレープフルーツジュース

冷えていると薬剤の流動性が悪く、薬が出にくい場合やポンプドームが押しにくい場合があるため、使用前は20～30℃に温める必要があります。高圧ガスを使用しているため体温以上の温度にならないよう注意が必要です。アプリケーターの挿入は、痛みを伴うことが多いようです。挿入しやすいようアプリケーターにワセリン等の潤滑剤を塗ることが推奨されています。使用後のアルミ缶は残った薬剤をできる限り出し切ってから、地方自治体により定められた廃棄ルールに従って処分してください。

(参考:EAファーマ株式会社)

C O L U M N

平素より大変お世話になっております。

2006年にビスフォスフォネート関連顎骨壊死(BRONJ)の報告から10年以上が経過しました。2012年にはデノスマブ製剤(ランマーク皮下注:多発性骨髄腫による骨病変、固形がん骨転移による骨病変)、2013年にはプラリア注(骨粗鬆症)が発売され、これらもBP製剤と同様のデノスマブ関連顎骨壊死(DRONJ)が発生する報告があり、双方を包括した骨吸収阻害剤関連顎骨壊死(ARONJ)に名称変更しました。最近では、癌治療において抗がん剤、血管新生阻害薬、分子標的薬などの投与があると顎骨壊死の発生率が増加することから、米国口腔外科顎顔面外科学会では薬剤関連各骨壊死(MRONJ)という名称を提唱しています。このような顎骨壊死は感染が引き金になっていることがわかってきており、無数の細菌が在駐する口腔内での感染予防が重要となりますので、投薬前にかかりつけ歯科への受診、検診をお願い致します。

歯科口腔外科 南 弘子

外来担当医師週間予定表

【受付時間】 午前 8:00~11:30 (歯科 8:30~) 午後 1:30~4:30 (歯科 2:00~)

【午前】		月	火	水	木	金	土(第1)	土(第3)	土(第5)	
内科 一部予約制	消化器 (肝臓)	高木 均 消化器・一般	高木 均 消化器・一般			高木 均 消化器・一般				
		高草木 智史 消化器・一般	高草木 智史 消化器・一般	小曽根 隆 消化器・一般	小曽根 隆 消化器・一般		高草木 智史 消化器・一般	小曽根 隆 消化器・一般	高草木 智史 消化器・一般	
	消化器				丸橋 恭子 消化器・一般	丸橋 恭子 消化器・一般		丸橋 恭子 消化器・一般		
					山口 泰子 消化器・一般	山口 泰子 消化器・一般	山口 泰子 消化器・一般		山口 泰子 消化器・一般	
				猿谷 真也 消化器			猿谷 真也 消化器			
	腎臓			野口 俊治 腎臓・一般						
				小柳 光 腎臓						
	循環器		深澤 利恵 循環器・一般			深澤 利恵 循環器・一般			深澤 利恵 循環器・一般	深澤 利恵 循環器・一般
			小 暮(第1・3) 循環器				中 野 循環器			
	糖尿	登丸 琢也 内分泌糖尿・一般		登丸 琢也 内分泌糖尿・一般				登丸 琢也 内分泌糖尿・一般	登丸 琢也 内分泌糖尿・一般	
		久永 悦子 糖尿病		岡村 孝志 糖尿病			非常勤医師 (※4) 糖尿病	非常勤医師 (※4) 糖尿病		
外科			伏島 雄輔	小川 展二	込谷 淳一 (第1・3)	高山 哲嘉				
乳腺・甲状腺外科 (一部予約制)		飯野 佑一 (※5)		飯野 佑一 (※5)	飯野 佑一 (※5)	中澤 祐子 (第1・3・5)	吉田 美穂			
血管外科 (予約制)						小泉 信達				
整形外科		義江 健(※1) 一般整形・手	米本 由木夫 一般整形	笠原 進 一般整形・膝	義江 健(※1) 一般整形・手	江崎 幸雄 一般整形・リウマチ	非常勤医師 (※6) 一般整形			
泌尿器科						富澤 秀人(※7)	非常勤医師	非常勤医師		
皮膚科		茂木 精一郎 (※2)								
歯科口腔外科 (予約制)		南 弘子 吉田 智映子	南 弘子 中野 みゆき 吉田(第2・4)	南(第2・4) 中野 みゆき 吉田 智映子 安井(第2・4)	南 弘子 吉田 智映子	南 弘子 吉田 智映子 非常勤医師(※3)	南 弘子 中野 みゆき 吉田 智映子 非常勤医師			
【午後】		月	火	水	木	金	土(第1)	土(第3)	土(第5)	
内科 (一部予約制)	金井 秀夫 腎臓・一般	庭前(第2・4) 循環器	森田 公夫 血液・一般	鷲田 雄二 消化器・一般			土曜日 午前中のみ診療 第2・4土曜日 終日休診			
			水野(第1・3・5) 神経内科	岩前 成紀 呼吸器						
歯科口腔外科 (予約制)		南 弘子 吉田 智映子	南 弘子 吉田(第2・4)	南(第2・4) 吉田 智映子 安井(第2・4)	南 弘子 吉田 智映子	南 弘子 吉田 智映子 非常勤医師(※3)				
矯正歯科 (予約制)					神原 学 (第4)	櫻井 洋介 (第1)				

- ・■は専門外来のため、一般外来受診後予約となります。
- ・第2・4土曜日は終日休診です。
- ・毎月1回火曜日は、群馬大学病態制御内科学教授 山田 正信 先生による診察(予約制)があります。
- (※1) 義江医師(整形外科)の外来は、予約外の場合、受付時間が11時までとなります。
- (※2) 茂木医師(皮膚科)の外来の受付時間は11時までとなります。
- (※3) 非常勤医師(歯科)の来院日は第1・3・5週の土曜日とその前日の金曜日となります。
- (※4) 土曜日の糖尿病外来の診察時間は、9時から10時30分までとなります。
- (※5) 飯野医師(乳腺・甲状腺外科)の外来の新患受付時間は11時までとなります。
- (※6) 整形外科(第3週土曜日)の外来の受付時間は11時までとなります。
- (※7) 富澤医師(泌尿器科)の外来の受付時間は11時までとなります。



ホームページ



公式facebook